

2016年7月1日 全5頁

【統計情報】景気が見えるグラフ32(2016年7月号)

データバンク課

[要約]

■ I. 国内景気

- GDP統計／実質成長率……………2次速報で+0.5%に上方修正
- 鉱工業生産指数……………3カ月ぶりに低下し前月比-2.3%
- 日銀短観／業況判断DI……………大企業実績はわずかに悪化
- 景気動向指数CI……………両指数、2カ月連続上昇
- 機械受注統計……………前年比マイナスに
- 消費総合指数……………穏やかながら5カ月連続上昇
- 貿易統計……………収支の黒字額はわずかに減少
- 輸出入数量指数……………5月は輸出入ともに上昇
- 新設住宅着工……………前年比+9.8%で5カ月連続増
- 首都圏マンション販売……………移動平均で前年比-25.1%
- 消費者物価・企業物価指数……………4月、コアコアCPIは+0.7%程度で推移
- マネーストック……………マネーストック伸び率は穏やかに上昇
- 完全失業率……………4月、横ばいの3.2%
- 有効求人倍率……………4月、1.34倍に上昇し24年5カ月ぶりの高水準
- 企業倒産件数……………3カ月連続で前年比減少
- 日銀短観／雇用人員判断DI……………大企業、中小の実績は2期連続不足感が緩和

■ II. マーケット

- | | |
|---------|-------------|
| 為替レート | 実効為替レート |
| 日米株価指数 | 中国・ブラジル株価指数 |
| 日米欧政策金利 | 日米独国債流通利回り |
| 新興国政策金利 | 商品指標（原油・金） |

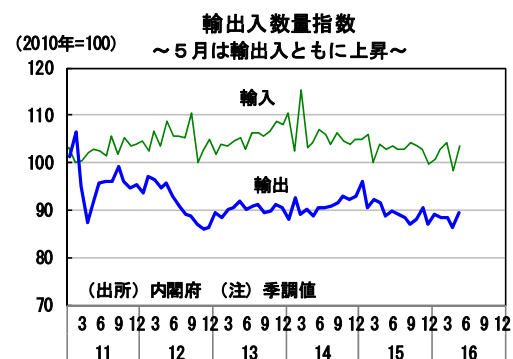
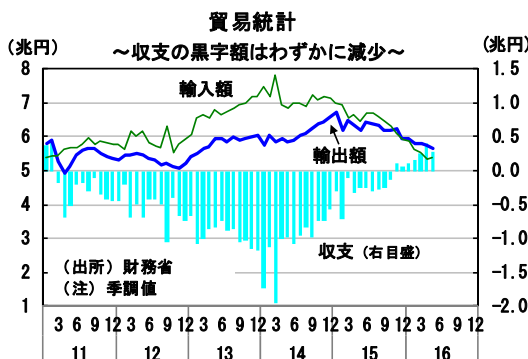
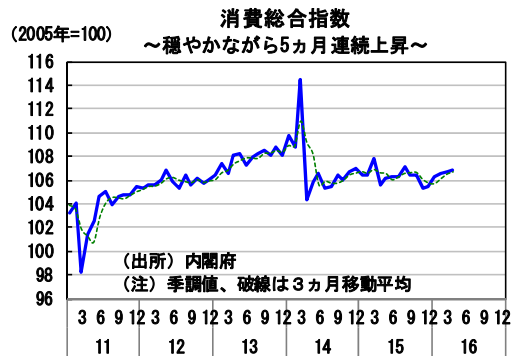
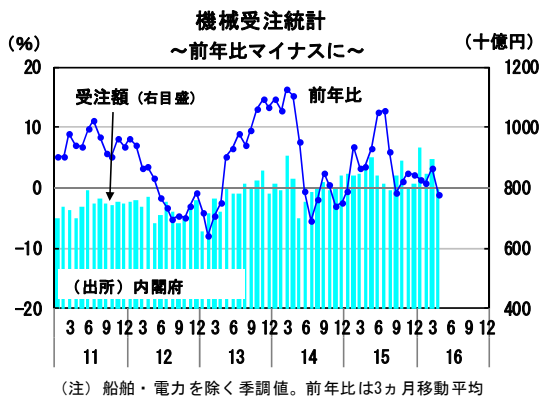
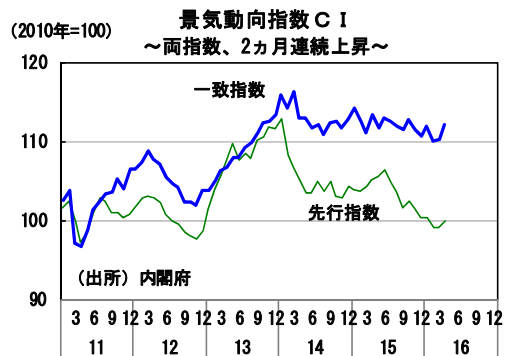
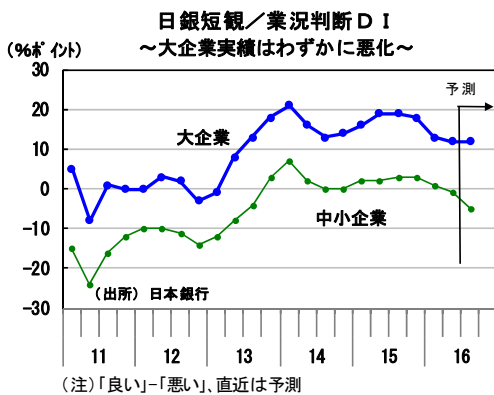
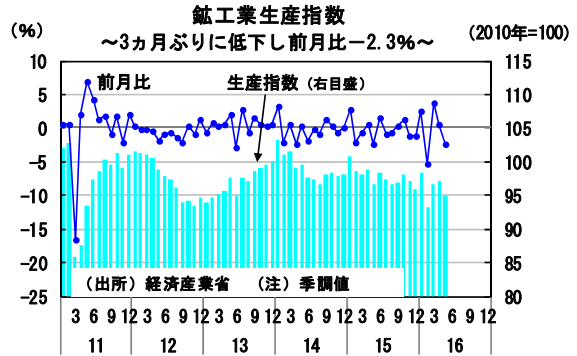
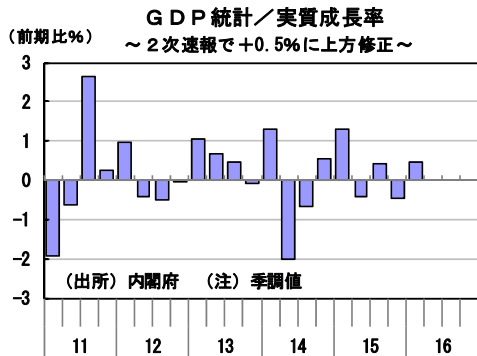
■ III. 海外経済

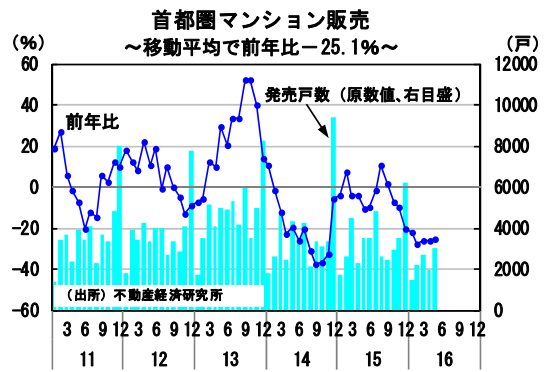
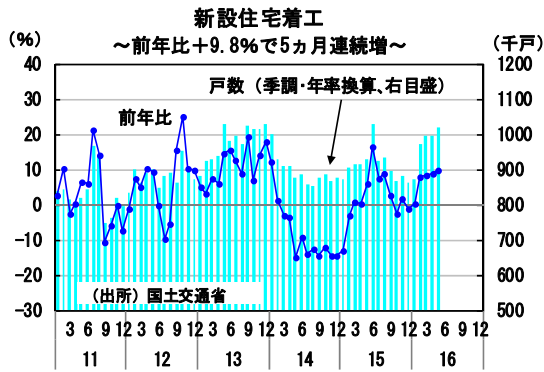
- 米国GDP／実質成長率……………1Q確定値は+1.1%に上方修正
- 米国雇用統計……………5月の雇用者数は3.8万人増と大幅に低下
- 米國小売売上高……………5月の全体は、前月比+0.5%
- 米国PCEデフレーター……………5月のコアデフレーターは+1.6%
- 中国GDP／実質成長率……………1Q、伸び率+6.7%で3期連続鈍化
- 中国鉱工業生産……………5月は+6.0%
- 中国消費者物価指数……………5月の全体は+2.0%
- 中国PMI景気指数……………6月は、50.0に低下

当資料は6月30日までの公表データで作成しています。（ただし、日銀短観と中国PMIは7月1日公表データ）

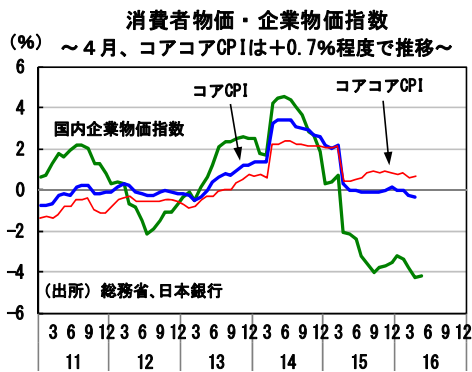
* 大和総研のウェブサイトでは、当レポートの関連データ集も公開しております。ご活用頂ければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

I. 国内景気

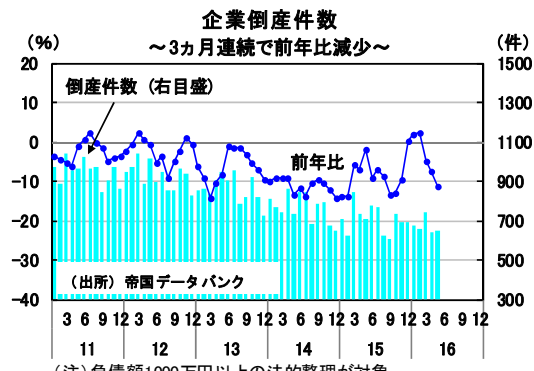
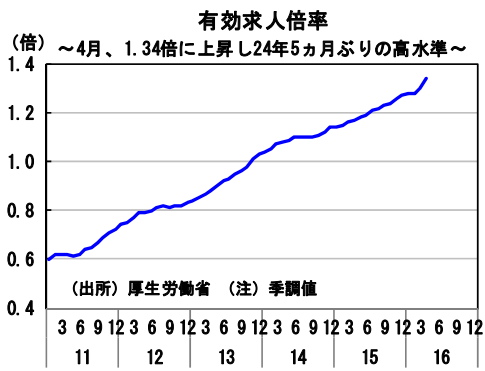
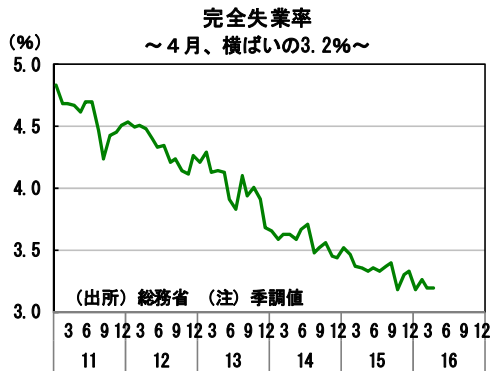
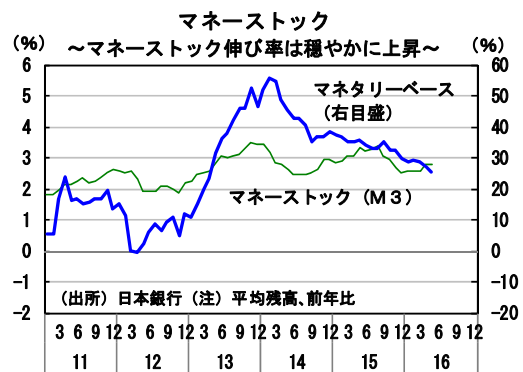




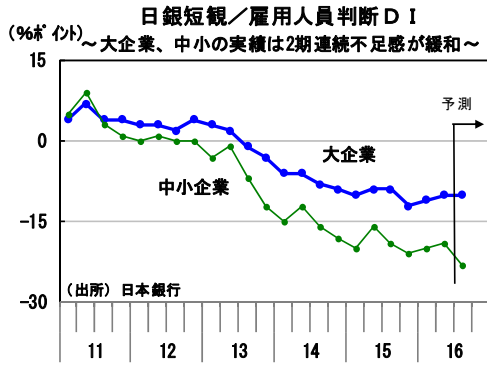
(注)前年比は3カ月移動平均



(注)前年比 CPI:消費者物価指数。コアは生鮮食品除くベース
コアコアは食料(除く酒類)及びエネルギーを除くベース

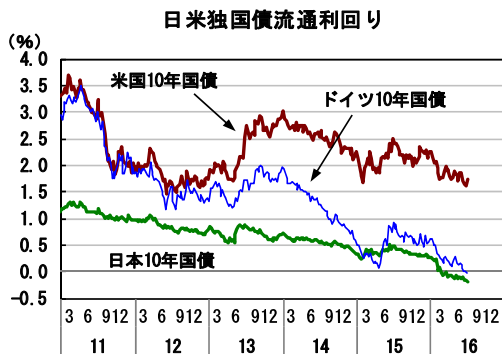
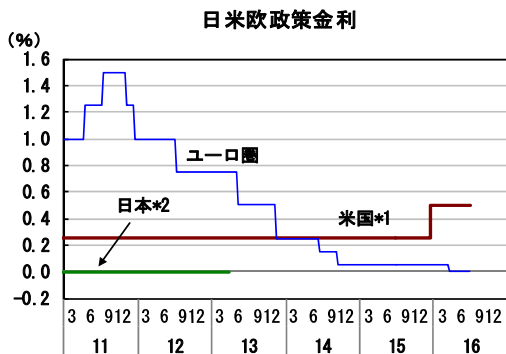
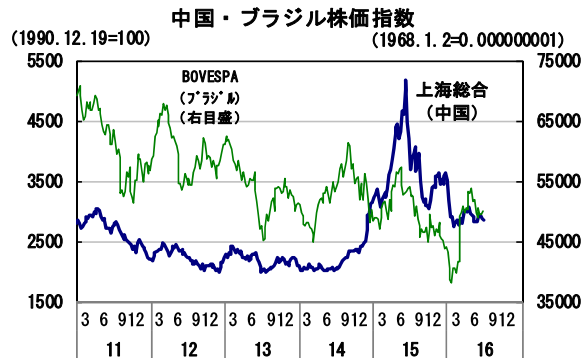
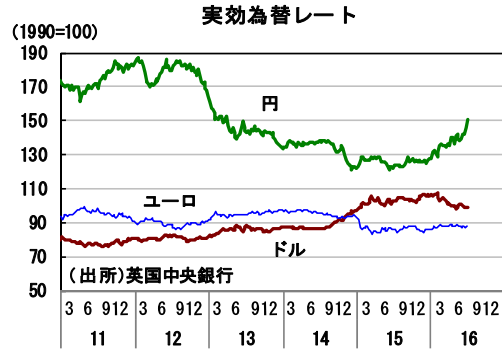


(注)負債額1000万円以上の法的整理が対象
前年比は3カ月移動平均

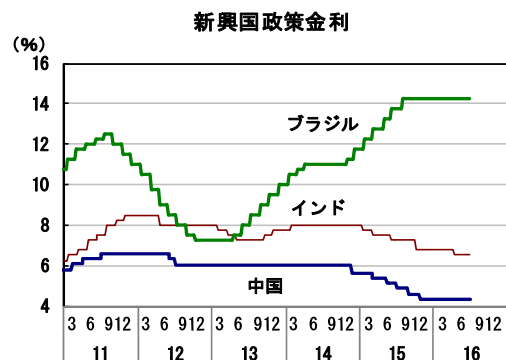


(注)「過剰」「不足」、直近は予測

II. マーケット



*1) 米国 2008/12より0.00%~0.25%、2015/12より0.25%~0.50%
 *2) 日本 金融市場調整の操作目標をマネタリーベースへ変更(2013/4)



(出所) 当頁、全グラフのデータは、各国証券取引所、各国中央銀行、日本経済新聞社等の公表データ (週末値) です。

Ⅲ. 海外経済

